## 審査した案件と結果

**知事提出の議案**

- 認　定　3件（認定）
- 予　算　10件（可決）
- 条　例　11件（可決）
- 事　件　11件（可決）
- 人　事　1件（同意）

**議員等提出の案件**

- 発　議　1件（可決）
- 議員派遣　2件（可決）
- 意見書　5件（可決）
  1件（否決）

**請　願**

- 採　択　1件
- 不採択　3件

## 可決された意見書・決議等

○ 厚生労働省における受動喫煙防止対策強化措置に関する葉たばこ生産者やサービス事業者等への十分な配慮を求める意見書
○「米政策改革」に対する稲作農家の不安の払拭及び経営の安定と担い手経営の再生産の確保を求める意見書
○ 地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書
○ 九州新幹線西九州ルートの整備促進に関する意見書
○ 所有者の所在の把握が難しい土地への対応に関する意見書

## 採択された請願

○ 厚生労働省における受動喫煙防止対策強化措置について意見書提出を求める請願

# ながさき 県議会だより

11月定例会

## 常任委員会

### 総務委員会　委員長／山本 由夫

**【質問】**長崎の教会群とキリスト教関連遺産基金の目標額を3億円としているが、いつ頃までに達成したいと考えているのか。また、地元企業や県民に対して、基金の趣旨が十分に浸透しておらず、今後の課題と考える。地元経済界や構成資産の所在市町との連携が必要ではないか。

**【答弁】**目標額3億円は、構成資産の中の文化財を全て補修した場合に要する経費となっており、直ちに全額が必要ということではないが、平成30年の登録年がひとつの目安になるため、その前後で見通しが立つよう努力したいと考えている。

**【主な論議事項】**カジノを含む統合型リゾート（IR）について／スポーツコミッションについて／島原半島ジオパークを活用した観光振興について　等

### 文教厚生委員会　委員長／宅島 寿一

**【質問】**国民健康保険の財政運営責任の都道府県への移行の目的は。現在、国民健康保険財政の赤字を補填するため、一般会計から繰入れを行っている市町もあるが、この制度が施行された後に、国は市町の財政赤字の解消に向けた財政支援を行うのか。

**【答弁】**制度改正の目的は医療保険制度の財政基盤安定化による国民皆保険の堅持であり、市町ごとの保険料の平準化や、国によって財政支援の拡充が行われることによる、市町の財政赤字の解消である。国は、制度開始後、毎年、必要な財政支援措置をすることとなっている。

**【主な論議事項】**県立大学の情報セキュリティ学科について／ランサムウェア対策について／学校評価について／保育士の人材確保について　等

### 環境生活委員会　委員長／中島 浩介

**【質問】**空き家再生プロジェクトでは、具体的にどのような取組を行っているのか。また、空き家を増やさないための対策は考えているのか。

**【答弁】**今年度は、長崎市南山手地区と雲仙市神代小路地区で、地元市・協議会と協力し、空き家所有者の把握、課題抽出等、空き家の調査を行っている。今後2地区において、空き家活用の実例を示すとともに、そこから得たノウハウ、実施に向けた取組をデータとして、県内各地域に広げていきたい。また、空き家予備軍に対して、どのようなことができるか検討していきたい。

**【主な論議事項】**長崎県汚水処理構想2017について／免許返納バス社会実験について／高齢ドライバーの交通事故対策について／職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について　等

### 農水経済委員会　委員長／吉村　洋

**【質問】**外国人を農業に従事させることについて一定の条件はあるのか。また、長崎県としてはどのくらいの人数を受け入れようと考えているのか。

**【答弁】**12月に行われた国家戦略特区諮問会議の決定事項では、母国の大学で農学部を卒業するなどの一定の技能を持ち、日本語による意思疎通が一定程度できることが条件となっている。受入人数については、県内の認定農業者を中心に労働力不足に関するアンケート調査を実施したところ、1日平均800人以上、最も少ない8月でも400人以上が不足していることから、少なくとも数百人単位で受入ができるような仕組みを構築するよう考えている。

**【主な論議事項】**長崎県産業振興財団が保有する株式の売却について／農福連携について／トラフグの養殖について　等

### 予算決算委員会　委員長／中村 和弥

**【質問】**佐世保情報産業プラザ管理運営負担金に関し、平成33年までの5年間で4億6千895万円の債務負担行為を設定しているが、その積算根拠は何か。また、施設の修繕に関して、指定管理者と県との役割分担の協定等は締結しているのか。

**【答弁】**これまでの運営経費に加え、施設の老朽化に伴う小規模修繕工事を含めて積算したため、現在の負担額よりも、若干増加した。施設の修繕は、今年度までは、その都度協議を行い、軽微なものは指定管理者の負担としているが、今回の募集からリスク負担表を定め、1件20万までの修繕は指定管理者、それを超える場合、県負担とする基準を設けた。

**【主な論議事項】**平成28年度長崎県一般会計補正予算（第4号）について／本県のラスパイレス指数について／里親育成支援事業について／総合就業支援センターの運営について　等

# 平成28年11月定例会にて、活発な論議が交わされました

平成28年11月定例会は、11月28日から12月21日まで開かれました。

開会日は、継続審査となっていた「平成27年度長崎県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について」ほか2件を認定し、人事議案1件を同意しました。

また、「平成28年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」など32件の議案が一括上程され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案について提案理由の説明を行いました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、交流人口拡大、諫早大型工業団地建設への県の取り組み、大村湾架橋構想、長崎南北幹線道路（茂里町～時津町）の事業効果、玄海原発避難計画、がまだすドーム（雲仙岳災害記念館）の活性化、橘湾における養殖業の振興、県内建設業の人材育成、国民健康保険、スポーツ振興、参加型スポーツイベントの開催、松が枝国際観光船埠頭拡張計画など、さまざまな事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、国の経済対策への対応に要する経費、給与改定及び職員給与関係既定予算の過不足の調整、その他緊急を要する経費について編成され、一般会計で271億7261万9千円の増額、特別会計で2億639万2千円の増額、企業会計で924万7千円の増額補正となりました。

また、議員提案の議案として、「長崎県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」が提出され、可決されました。

これらに追加上程（12月6日）された事件議案1件を含めて、本定例会では39件の議案を原案のとおり可決、同意、認定するとともに「九州新幹線西九州ルートの整備促進に関する意見書」など5件の意見書を可決しました。

## 一般質問

### 長崎南北幹線道路の事業効果について

深堀　浩〈長崎市/改革21〉

**【質問】**長崎南北幹線道路の事業効果はどれくらいか。国道206号の渋滞緩和策として、川平有料道路の料金の低廉化をしてはどうか。

**【答弁】**長崎南北幹線道路により、時津町井手園交差点から大波止交差点までの通行時間が30分から10分に、国道206号の交通量は5万台から約4万台に減少し、通行時間が30分から20分に短縮できると予測している。また、川平有料道路では、現在終日3割引を実施しており、今後の維持管理を考慮すると、料金の引下げは非常に難しい。

### 大村湾架橋構想について

瀬川　光之〈西海市/自由民主党〉

**【質問】**大村湾の底泥をしゅんせつして人工島を構築し、それを利用して、大村空港から西彼杵半島への架橋を建設する構想を県の部局横断的プロジェクトと位置づけてはどうか。人工島への魚礁設置は水産振興にもなる。

**【答弁】**ご提案は将来に夢を抱かせる構想だが、費用が多大で、漁場への影響を考慮する必要があることなどから、長期的な課題である。関係部局等と相談しながら、県としてどのような位置づけができるのか考えてまいりたい。

### 諫早大型工業団地建設への県の取組について

八江　利春〈諫早市/自由民主党〉

**【質問】**2千人を超える雇用の受け皿になると期待している諫早の大型工業団地について、県がもっと主体的に関与して整備を進めていく必要があるのではないか。

**【答弁】**工業団地の整備に当たっては、企業立地により最も受益がある市町が事業主体となっていただく必要がある。本県では補助限度額を設けず、団地整備に係る市町の実負担額の2分の1を補助するほか、起債の償還利子も対象とするなど、全国でも手厚い支援内容としている。

### 交流人口拡大・定住促進について

中島　廣義〈東彼杵郡/自由民主党〉

**【質問】**県内の交流人口の拡大を図るため周遊型観光を推進すべきだが県の考え方は。また、県内の定住人口増加を図るための取組みをお尋ねしたい。

**【答弁】**周遊型観光をより一層推進していくことが重要と考えており、本県独自の魅力ある観光素材を盛り込んだ周遊モデルルートを設けている。また、移住定住促進のため「ながさき移住サポートセンター」や「Nナビ」で本県の暮らしやすさ等をHPやSNSで具体的な情報発信に努めている。

### ドローンを活用した産業・地域振興について

宅島　寿一〈雲仙市/自由民主党〉

**【質問】**本県におけるドローンの活用状況と今後の活用策についてお尋ねしたい。上五島空港や小値賀空港を利用して、ドローン訓練場を整備できないか。

**【答弁】**道路法面の危険度調査、水稲の農薬散布、ホトトギスガイの分布状況調査等の活用事例がある。国や他県の利用状況等を調査し、今後の活用策を検討したい。ドローン訓練場については、上五島空港のプライベート飛行機の状況や他の航路計画との関連もあり、今後の検討課題としたい。

### 橘湾における養殖業の振興について

ごう　まなみ〈長崎市/自由民主党〉

**【質問】**県は、日本一の生産量を誇るトラフグ養殖を地場産業としてどのように育てていこうとしているのか、今後の方向性は。

**【答弁】**県では、養殖業の振興を図るため、県内各地の意欲ある養殖業者グループが漁協、市町等と連携して、国内外の市場ニーズに対応した魚づくりや販路拡大などを実現するための養殖産地育成計画を策定し、その実践によって所得向上並びに雇用拡大を推進していく。

### がまだすドームのリニューアルの内容・今後のスケジュール及び入館者増加対策について

山本　由夫〈島原市/自由民主党〉

**【質問】**がまだすドームのリニューアルの内容と今後のスケジュール及び入館者増加対策についてどのように考えているか。

**【答弁】**入館者が利用しやすいカフェ、ショップ等の一体的な配置やボルダリング等の体験ゾーン、火山や防災等をテーマとした実験コーナーの新設を行い、平成29年度中に館内改修、30年4月にリニューアルオープンする予定。集客力の高い体験プログラム、新たなツアーの造成等でファミリー層などをリピーターとして誘客したい。

### 玄海原発避難計画について

西川　克己〈平戸市/自由民主党〉

**【質問】**玄海原発避難計画について実効性があり、かつ十分なものであるか。

**【答弁】**災害時には陸路、海路、空路避難を想定しているが、離島では海路・空路避難ができない場合に備えて放射線防護施設の整備を進める等、一定の対策が盛り込まれたと考える。また海路避難で、不測の事態においては、自衛隊や海上保安部等の実働組織に支援を要請することとし、陸路避難で道路の改良が必要なところは、国に対して改修の必要性等を引き続き要請していく。

### 松が枝国際観光船埠頭拡張計画について

川崎　祥司〈長崎市/公明党〉

**【質問】**松が枝国際観光船埠頭の拡張整備計画の状況はどうなっているか。また、拡張計画に合わせ、周辺エリアの整備計画を一体的に策定することが望ましいがどうか。

**【答弁】**クルーズ船の増加と大型化に対応する松が枝国際観光船埠頭の2バース化は、多額の費用と長い期間を要するため、早期事業化を機会あるごとに国に要望している。松が枝地域の再開発も必要と考えており、長崎市とも連携して、周辺整備構想の策定や整備スキームの整理等を行っていきたい。

### 県道小浜北有馬線・山口南有馬線及び愛野小浜バイパスについて

松島　完〈南島原市/地域政党ながさき〉

**【質問】**県道小浜北有馬線のトンネル工事、県道山口南有馬線白木野地区の整備、愛野小浜バイパスの進捗はどうなっているか。

**【答弁】**県道小浜北有馬線大亀矢代工区のトンネル工事は、北有馬側の用地取得を進め、トンネルにつながる道路工事が完了した後、着手したい。県道山口南有馬線白木野工区は、南有馬側の用地取得に時間を要し、一部工事に着手できない状況である。愛野小浜バイパスは、利用交通量が少なく整備効果に問題があるため、将来的な課題と考えている。

### マラソン大会開催について

大久保　潔重〈諫早市/愛郷無限。〉

**【質問】**長崎国体等のレガシーを活用し、東京五輪への機運醸成を図るため、スポーツ交流と地域活性化ができるマラソン大会開催に対する取組みを県に進めてもらいたいがどう考えているか。

**【答弁】**地元の行政、関係団体、市民が一体となって主体的にかかわることが非常に重要である。フルマラソンを開催するにはさまざまな関係機関の方の同意と協力が必要不可欠であり、その環境整備がまず重要であることから関係者としっかり協議、相談していきたい。

### 治療用装具にかかる医療費の支給について

吉村　正寿〈長崎市/改革21〉

**【質問】**治療用装具を購入する場合、一度患者が全額負担し、請求手続すると後から保険適用分である7割が戻ってくるが、患者が立替払いをしなくて済むようにすべきではないか。

**【答弁】**現行制度では、支給対象となる装具の範囲が明確に示されておらず、保険者の判断にばらつきが生じることが問題。現在、国の専門委員会で、支給対象範囲の明確化や立替払いが不要となる受領委任払い制度について検討されているので、注視していきたい。

## 長崎県議会の活動状況等

### 長崎県沖縄戦没者追悼式

標記追悼式は、祖国のため尊い犠牲となられました3万5千余の中国大陸及び沖縄以南の地域における本県出身戦没者の御遺徳を偲び、御霊に感謝の誠を捧げるとともに、わが国の恒久の平和を祈念するため、昭和41年11月に第1回追悼式が行われ、その後毎年、遺族をはじめ関係者多数の参列のもとに、沖縄県で行われています。

今年度は、11月10日（木）に、沖縄県糸満市摩文仁の丘の「鎮魂長崎の碑」前で、長崎県議会から田中議長をはじめ8名の議員が参加し、約110名の参加者とともに追悼式が行われました。

### 第16回都道府県議会議員研究交流大会

標記交流大会は、都道府県議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行うとともに、大会参加を通じて議員間の一層の連携を深め、地方分権の時代に即応した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに役立てるため、全国都道府県議会議長会の主催により毎年11月に開催されています。

今年度は11月15日（火）に東京都内で開催され、長崎県議会からも10名の議員が参加いたしました。

「地方議会人の挑戦ー変化する首長と議会政革の成果」について、明治大学名誉教授の基調講演を受けた後、「議会の透明性の確保」などテーマ別に5つの分科会に分かれ、意見交換を行いました。

### 全国都道府県議会議長会永年勤続功労者表彰伝達式

平成28年11月28日（月）本会議終了後、標記表彰伝達式が長崎県議会議場において行われました。

議長から表彰状と記念品の贈呈が行われ、議長並びに、知事からのお祝いの言葉が述べられました。

**全国都道府県議会議長会永年勤続功労者表彰**

（在職25年以上）
八江　利春議員

（在職10年以上）
徳永　達也議員
山田　博司議員

### お知らせ

**インターネット中継**　インターネットを利用した県議会中継（生中継・録画中継）を実施しています。

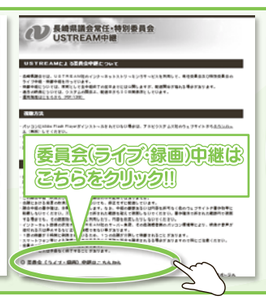
**ホームページ会議録**　長崎県議会　検索　会議録全文を掲載しています。

**掲載内容**
○本会議・常任委員会は、平成8年2月～28年9月まで
○特別委員会は、平成24年4月～28年10月まで

◎本会議・委員会は、原則としていつでもだれでも傍聴できます。
◎次回の定例会は、2月20日に始まる予定です。

**テレビ放送**　平成28年11月定例会の模様をまとめた「県議会リポート」を放送します。
○平成29年1月22日㈰　14:00～14:15
○NBC長崎放送

### 注目情報!!　～委員会中継の視聴方法～

インターネット動画サイト・ユーストリームにおいて、委員会中継（ライブ・録画）を配信しています！

1. もっと知りたい 長崎県議会 Nagasaki Prefectural assembly　長崎県議会　検索
2. 中ほどにある ユーストリーム中継のバナーをクリックする
3. 視聴方法や注意事項をよく読んで、最後にある下記表示から入る ○委員会（ライブ・録画）中継はこちらから
4. 視聴したい委員会名をクリックする